

介 護 福 祉 科

1 年

授業科目名	にんげん そんげん じりつ 人間の尊厳と自立	担当 教員名	進 まどか	単位数	2	授業 区分	講義	開講 時期	1年 前期
【授業の到達目標】									
じんけん にんげん そんげん じりつ りかい かいごふくし ろんりてきかだい たいおう きそ やしな 人権、人間の尊厳、自立について理解し、介護福祉の論理的課題への対応の基礎を養う									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション にんげん そんげん じんけん ふくしりねん 人間の尊厳と人権・福祉理念								
第2回	にんげん そんげん りようしゃしゅたい 人間の尊厳と利用者主体								
第3回	じんけんしろう ちょうりゆう ぐげんか 人権思想の潮流とその具現化								
第4回	じんけん そんげん かん にほん しょきてい 人権や尊厳に関する日本の諸規定								
第5回	しゃかいふくしりょういき じんけん ふくしりねん へんせんひと ひと えんじよ 社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 人は人をどう援助しようとしてきたか								
第6回	しゃかいふくしりょういき じんけん ふくしりねん へんせんせんご あら ふくし あ かた もさく 社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷 戦後の新たな福祉の在り方への模索								
第7回	じんけんそんちようなんりようご 人権尊重と権利擁護①								
第8回	じんけんそんちようなんりようご 人権尊重と権利擁護②								
第9回	じりつ かた じりつ がいねん たようせい 自立のあり方 自立の概念の多様性								
第10回	じりつ 自立とは								
第11回	かいご ひつよう ひと じりつ じりつしえん 介護を必要とする人の自立と自立支援①								
第12回	かいご ひつよう ひと じりつ じりつしえん 介護を必要とする人の自立と自立支援②								
第13回	かんがかた ICFの考え方								
第14回	かいご ひつよう ひと そんげん ほじ じりつ じりつしえん かんけいせい 介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性								
第15回	まとめ								
【学生に対する評価】									
ていきしけん ていしゅつぶつ ・定期試験 ・提出物									
じゅこう えんしゅうたい いよく と く そうごうてき ひょうか ・受講、演習に対しての意欲や取り組みなどを総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
さいしんかいごふくししようせいこうざ だい かん にんげん りかい ちゅうおうほうき ・最新 介護福祉士養成講座 第1巻「人間の理解」(中央法規)									
じゅけん じょうちゅうおうほうき ・受験ワークブック 上(中央法規)									
ひつよう おう しりょうはいふ ・必要に応じて資料配布									
たんとうきょういんじつむけいけん じどうはったつしえん じどうしどういん きんむ 担当教員 実務経験 ・児童発達支援センターで児童指導員として勤務									
担当教員E-mail 学校専用E-mail kamiduru@tohaya.ac.jp									

授業科目名	人間関係と コミュニケーションA	担当 教員名	進まどか	単位数	2	授業 区分	講義	開講 時期	1年 後期
【授業の到達目標】									
<p>たいじんえんじょ ひつよう 人間関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得すると もに、チームで働くための能力を養う</p>									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション 人間の誕生と介護の関係								
第2回	自分と他者の理解								
第3回	発達心理学からみた人間関係								
第4回	社会心理学からみた人間関係								
第5回	人間関係とストレス								
第6回	対人関係におけるコミュニケーション コミュニケーションの概念								
第7回	コミュニケーションの基本構造								
第8回	コミュニケーションの手段								
第9回	対人援助関係とコミュニケーション 対人関係の基本となる人間関係とコミュニケーション								
第10回	対人援助における基本的態度								
第11回	援助的人間関係の形成とバイステックの7つの原則								
第12回	組織におけるコミュニケーション 組織の条件とコミュニケーションの特徴								
第13回	組織における情報の流れ								
第14回	組織において求められるコミュニケーション								
第15回	まとめ								
【学生に対する評価】									
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 提出物 受講、演習に対しての意欲や取り組みなどを総合的に評価する 									
【テキスト及び参考書】									
<ul style="list-style-type: none"> 最新 介護福祉士養成講座 第1巻「人間の理解」(中央法規) 受験ワークブック 上(中央法規) 必要に応じて資料配布 									
<ul style="list-style-type: none"> 担当教員 実務経験 児童発達支援センターで児童指導員として勤務 									
担当教員E-mail					学校専用E-mail kamiduru@tohaya.ac.jp				

授業科目名	しゃかい りかい 社会の理解A	担当 教員名	進 まどか	単位数	2	授業 区分	講義	開講 時期	1年 後期
【授業の到達目標】									
げんだいしゃかい 現代社会のありようを掴み、つか ちいき きょうせい りねん しゃかいほしやうせいど しゃかいふくし 地域で共生する理念や、社会保障制度や社会福祉のしくみについて基礎的な知識 しゅうとく を習得する									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション せいかつ きほんきのう ライフスタイルの変化 へんか かぞくのう やくわり 生活の基本機能 家族機能と役割								
第2回	しゃかい そしき きのう やくわり ちいき ちいきしゃかい ちいきしゃかい せいかつしえん 社会・組織の機能と役割 地域、地域社会 地域社会における生活支援								
第3回	ちいききょうせいしゃかいじつげん む せいど せさく ちいきふくし はってん 地域共生社会の実現に向けた制度や施策 地域福祉の発展								
第4回	ちいききょうせいしゃかいちいきほうかつ 地域共生社会 地域包括ケア								
第5回	しゃかいほしやうせいど しゃかいほしやう きほんてき かんがかた 社会保障制度 社会保障の基本的な考え方								
第6回	にほん しゃかいほしやうせいど はったつ 日本の社会保障制度の発達①								
第7回	にほん しゃかいほしやうせいど はったつ 日本の社会保障制度の発達②								
第8回	にほん しゃかいほしやうせいど 日本の社会保障制度のしくみ								
第9回	ねんきんほけん 年金保険								
第10回	いりやうほけん 医療保険								
第11回	かいごほけん こやうほけん ろうどうしやいがいほしやうほけん 介護保険 雇用保険 労働者災害補償保険								
第12回	かくしゆしゃかいふじよ 各種社会扶助								
第13回	げんだいしゃかいしゃかいほしやうせいど しょうしこうれいか ざいげんもんだい 現代社会と社会保障制度 少子高齢化 財源問題								
第14回	じぞく かのう しゃかいほしやうせいど みち しゃかいほしやうこうぞうかいかく 持続可能な社会保障制度への道 社会保障構造改革								
第15回	まとめ								
【学生に対する評価】									
ていきしけん ていしゆつぶつ ・定期試験 ・提出物									
じゆこう えんしゆうたい いよく と く そうごうてき ひょうか ・受講、演習に対しての意欲や取り組みなどを総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
さいしんかいごふくししやうせいこうざ だい しゃかい りかい ちゆうおうほうき ・最新 介護福祉士養成講座 第2「社会の理解」(中央法規)									
じゆけん じやうちゆうおうほうき ・受験ワークブック 上(中央法規)									
ひつやう おう しりょうはいふ ・必要に応じて資料配布									
たんとくきょういんじつむけいけん じどうはったつしえん じどうしどういん きんむ 担当教員 実務経験 ・児童発達支援センターで児童指導員として勤務									
担当教員E-mail					学校専用E-mail kamiduru@tohaya.ac.jp				

授業科目名	国語表現Ⅰ (日本語の表現)	担当教員名	柴田康弘	単位数	1	授業区分	演習	開講時期	1年 通年
【授業の到達目標】									
<p>①介護の仕事やそれに関わる自律的な学習の支えになる基礎的な語彙力を習得する。</p> <p>②介護の現場での日常的な文章を読み取る読解力を身につける。</p> <p>③専門用語を使って、説明したりや意見を述べたり、記録したりする表現力を身につける。</p> <p>④日本の社会や文化的な知識を習得する</p>									
【授業計画】									
第1回	「日常生活の支援」に関する語彙や知識を理解し、習得する								
第2回	利用者への「日常生活の支援」について説明できるようにする								
第3回	「日常生活の支援」に関する国家試験問題の内容を理解して答える								
第4回	日本の掃除・洗濯についての用語を理解し、連絡・報告が出来るようにする								
第5回	「食事と誤嚥」に関する言葉の意味を理解し、習得する								
第6回	「食事と誤嚥」に関する文章を読み、理解できるようにする								
第7回	「食事と誤嚥」に関する国家試験問題の内容を理解して答える								
第8回	自分の国と日本の文化(行事や食事)について説明できるようにする。								
第9回	誤嚥予防で気を付けていることや対応を説明する								
第10回	「感染症」に関する言葉の意味を理解する								
第11回	「感染症」に関する文章を読み内容を理解する								
第12回	感染症の症状や感染予防について説明できるようにする								
第13回	「感染症」に関する国家試験問題の内容を理解して答える								
第14回	「関節リウマチ」に関する言葉の意味を理解する								
第15回	「関節リウマチの症状、治療、日常生活の注意点の内容と専門用語を理解する								
【学生に対する評価】									
受講、演習に対しての意欲や取り組みなどを総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
<p>・「始めよう！介護の日本語～介護現場ですぐに使えるコミュニケーション」国際交流&日本語支援Y編著</p> <p>・「介護の専門日本語」凡人社</p>									
<p>担当教員 実務経験 高等学校で21年間国語・外国語(中国語)を担当</p>									
担当教員E-mail shibata@tohaya.ac.jp					学校専用E-mail				

授業科目名	レクリエーション演習Ⅰ	担当教員名	高西敏正 加来栄治 石井貴子	単位数	1	授業区分	演習	開講時期	1年前期
【授業の到達目標】									
うんどう おんがく ぎこう かつどう とお ひと のうりよく 運動・音楽・図工のレクリエーション活動を通して、人とのコミュニケーション能力をみにつける									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション / 自己紹介ワーク(私は誰)								
第2回	カラダを使った運動レクリエーション①								
第3回	カラダを使った運動レクリエーション②								
第4回	道具を使った運動レクリエーション①								
第5回	道具を使った運動レクリエーション②								
第6回	音楽レクリエーション① / 校歌・季節の歌を歌う								
第7回	音楽レクリエーション② / 校歌・季節の歌を合唱・歌リレー・輪唱で歌う								
第8回	音楽手あそび								
第9回	音楽活動の体験① / 鳴子、カスタネットでリズムを打つ								
第10回	音楽活動の体験① / いろいろな楽器でのアンサンブル								
第11回	「折り紙」を使った工作あそび								
第12回	「紙コップ」を使った工作あそび								
第13回	「油粘土」をにふれる								
第14回	「油粘土」を使った製作								
第15回	まとめ・振り返り								
【学生に対する評価】									
レポート課題の提出とその内容、受講、演習に対しての意欲や取り組みなどを総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
必要に応じて資料配布									
教室等に関しては、毎回変わることがある。運動レクリエーションの授業の場合、シューズ等を準備すること									
担当教員 実務経験									
担当教員E-mail		takanishi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail				

授業科目名	レクリエーション演習Ⅱ	担当教員名	高西敏正 加来栄治 石井貴子	単位数	1	授業区分	演習	開講時期	1年後期
【授業の到達目標】									
<p>うんどう おんがく ずこう かつどう とお ひと まえ じこひょうげんのうりよく 運動・音楽・図工のレクリエーション活動を通して、人の前で自己表現能力をみにつける</p>									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション								
第2回	「廃材」を利用した工作あそび① / 牛乳パックを使って								
第3回	「廃材」を利用した工作あそび② / ペットボトルを使って								
第4回	「お店屋さんごっこ」の品物づくり								
第5回	レクリエーションダンス① / 言葉に合わせて動いてみよう								
第6回	レクリエーションダンス② / 音楽に合わせて動いてみよう								
第7回	レクリエーションダンス③ / みんなと合わせて動いてみよう								
第8回	音楽劇とは / 高齢者向け音楽劇								
第9回	音楽劇活動① / 自分の役割を考える								
第10回	音楽劇活動② / 衣装づくり								
第11回	音楽劇活動③ / 自分の役割に応じた練習をする								
第12回	音楽劇活動④ / 音楽にあわせた振付を考える								
第13回	音楽劇活動⑤ / 人と合わせた練習をする								
第14回	音楽劇活動⑥ / 発表会								
第15回	まとめ・振り返り								
【学生に対する評価】									
<p>かだい ていしゆつ ないよう ・レポート課題の提出とその内容、受講、演習に対しての意欲や取り組みなどを総合的に評価する</p>									
【テキスト及び参考書】									
<p>ひつよう おう りようはいふ ・必要に応じて資料配布</p> <p>きょうしつわう かん まいかしか うんどう じゆぎょう ばあい どう じゆんび ・教室等に関しては、毎回変わることがある。運動レクリエーションの授業の場合、シューズ等を準備すること</p>									
<p>たんとうきょういんじつむけいけん 担当教員 実務経験</p>									
担当教員E-mail			takanishi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail			

授業科目名	介護の基本A	担当教員名	森本 春子	単位数	2	授業区分	講義	開講時期	1年前期
【授業の到達目標】									
介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理に基づき、その機能と役割の概要を理解する。									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション(自己紹介、授業の勧め方、学習方法) 介護の基本となる理念・介護の成り立ち								
第2回	介護を取り巻く状況		介護の社会化						
第3回	介護の歴史		介護サービスの量的拡充						
第4回	サービスの質的拡充		介護福祉の基本理念						
第5回	自立を支える介護		尊厳を支える介護						
第6回	社会福祉士法及び介護福祉士法			社会福祉士法、介護福祉士法における諸規定					
第7回	介護福祉士の役割と機能			地域共生社会と・災害時・看取り時の役割					
第8回	前半のまとめ			介護福祉士を支える団体					
第9回	介護福祉士の倫理			介護福祉士の倫理の実践					
第10回	日本介護福祉士会の倫理綱領・介護福祉士の専門性			自立に向けた支援					
第11回	ICF 自立支援とエンパワメント								
第12回	生活意欲と活動			自立支援とリハビリテーション					
第13回	リハビリテーションの実際と介護福祉士の役割			自立支援と介護予防					
第14回	介護予防の概要		介護予防の種類		介護予防における介護福祉士の役割				
第15回	まとめ								
【学生に対する評価】									
定期試験・小テスト・レポートの提出状況とその内容・授業態度などを総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
最新介護福祉士養成講座 第3巻 第3版「介護の基本 I」(中央法規)									
受験ワークブック 上(中央法規)									
必要に応じて資料配布									
担当教員 実務経験 特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務・居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして勤務									
担当教員E-mail h-morimoto@tohaya.ac.jp					学校専用E-mail				

授業科目名	介護の基本B	担当教員名	森本 春子	単位数	2	授業区分	講義	開講時期	1年前期
【授業の到達目標】									
介護福祉の基本となる理念のもとに、地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉の専門性を目指す力をつける事が出来る。									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション 介護を必要とする人の理解・生活の理解								
第2回	生活の特性・高齢者の暮らし								
第3回	障害のある方の生活								
第4回	家族介護者の理解と支援 介護福祉を必要とする人の生活を支える。								
第5回	高齢者の為のフォーマルサービス 生活を支えるインフォーマルサービス								
第6回	フォーマルサービスとインフォーマルサービスの関係性 地域連携の目的と意義								
第7回	地域連携にかかわる組織と団体の概要								
第8回	前半のまとめ 介護における安全の確保とリスクマネジメントセーフティーマネジメント								
第9回	リスクマネジメント 介護における医行為 介護における事故と法的責任								
第10回	福祉サービスに求められる安全・安心 身体拘束								
第11回	感染症 感染対策の基本的な方法 バイタルサインの測定								
第12回	協働する多職種の機能と役割 多職種連携の必要性 保健・医療・福祉職								
第13回	多職種連携・協働の実際 介護従事者の安全・健康管理の重要性								
第14回	介護従事者を守る法制度 介護に従事する人の健康問題								
第15回	心身の健康管理 まとめ								
【学生に対する評価】									
定期試験・小テスト・レポートの提出状況とその内容・授業態度などを総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
最新介護福祉士養成講座 第3巻 第3版「介護の基本I」(中央法規)									
受験ワークブック 上(中央法規)									
必要に応じて資料配布									
担当教員 実務経験 特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務・居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして勤務									
担当教員E-mail h-morimoto@tohaya.ac.jp					学校専用E-mail				

授業科目名	介護の基本C	担当教員名	境 宏美	単位数	2	授業区分	講義	開講時期	1年後期
【授業の到達目標】									
<p>介護を必要とする人の生活を理解し、個性に対応するために、生活の多様性や社会とのかかわりを理解する。 介護を必要とする人の生活を支えるという観点から、介護サービスや地域連携など、フォーマル、インフォーマルな支援を理解する。</p>									
【授業計画】									
第1回	ガイダンス、専門職としての姿勢								
第2回	私たちの生活の理解①								
第3回	私たちの生活の理解②								
第4回	介護を必要とする人の生活の理解①								
第5回	介護を必要とする人の生活の理解②								
第6回	「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解、生活のしづらさの理解とその支援								
第7回	家族介護者の理解								
第8回	介護を支える人の生活を支えるしくみ①								
第9回	介護を支える人の生活を支えるしくみ②								
第10回	介護を支える人の生活を支えるしくみ③								
第11回	介護を支える人の生活を支えるしくみ④								
第12回	地域連携①								
第13回	地域連携②								
第14回	地域連携③								
第15回	まとめ、小テスト								
【学生に対する評価】									
定期試験・課題提出状況・条項態度を総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
最新 介護福祉士養成講座4 介護の基本 II 第3版 中央法規									
担当教員	実務経験	療養型病棟で11年半勤務、高齢者施設での生活相談員・区役所勤務あり 居宅介護支援事業所の管理者兼介護生活支援専門員として、高齢者の生活支援に携わる							
担当教員E-mail					学校専用E-mail kamiduru@tohaya.ac.jp				

授業科目名	コミュニケーション技術A	担当教員名	佐藤 弘樹	単位数	1	授業区分	演習	開講時期	1年前期
【授業の到達目標】									
①高齢者や障害のある人のコミュニケーションの特性を理解する。									
②挨拶・笑顔の効果や傾聴・受容・共感的理解などをロールプレイを通じて習得し、現場で実践できるようになる。									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション(私の授業の進め方)・・・まずは信頼関係を築こう								
第2回	コミュニケーションの意義と目的・・・ワークを中心に								
第3回	コミュニケーションの対象と展開								
第4回	コミュニケーションの役割・・・ワークを中心に								
第5回	人間の願望とコミュニケーション								
第6回	介護現場において話を聴く技法・・・傾聴トレーニング(グループワーク)								
第7回	人体について・・・寝たきりを防ぐ理由についてコミュニケーションの側面からの理解								
第8回	利用者様の感情表現を察する技法・・・ロールプレイ(グループワーク)								
第9回	利用者様の納得と同意を得るには？								
第10回	より良い聴き取りの方法・・・質問法								
第11回	相談・助言・指導の技法・・・バイステックワーク(グループワーク)								
第12回	利用者様の意欲を引き出すコミュニケーションとは？								
第13回	利用者様とご家族の意向を調整する方法・・・どちらの意見がだいじ？								
第14回	複数の利用者様がいる場面でのコミュニケーション技法・・・どこに主眼をおく？								
第15回	今までのまとめ(コミュニケーション技術Bへ)								
【学生に対する評価】									
定期試験：50点 レポートなどの提出・演習評価：30点 授業態度・出席率：20点									
レポートなど提出を求めたものの期限に間に合わないものは点数をつけません。									
【テキスト及び参考書】									
最新・介護福祉士要請講座 第5巻「コミュニケーション技術」(中央法規)									
適宜、DVD教材使用、その他必要に応じて資料配布									
たんとくきょういんじつむけいけん 担当教員 実務経験									
とくべつやうごろうじん 特別養護老人ホーム・有料老人ホームで介護福祉士や管理者として勤務									
にほんこくないがい 日本国内外での介護学校教員・看護学校教員として非常勤勤務									
担当教員E-mail	barten2no@yahoo.co.jp			学校専用E-mail	sato@tohaya.ac.jp				

授業科目名	コミュニケーション技術B	担当教員名	佐藤 弘樹	単位数	1	授業区分	演習	開講時期	1年後期
【授業の到達目標】									
<p>①高齢者や障害のある人のコミュニケーションの特性を理解する。</p> <p>②挨拶・笑顔の効果や傾聴・受容・共感的理解などをロールプレイを通じて習得し、現場で実践できるようになる。</p> <p>③個人情報の扱い方などを含め、情報を共有し管理する上で配慮することを理解する。</p>									
【授業計画】									
第1回	コミュニケーション障害の理解(様々なコミュニケーション障害)								
第2回	コミュニケーション障害のある利用者様への対応								
第3回	利用者様の特性に応じたコミュニケーションの実際(身体障害系)								
第4回	利用者様の特性に応じたコミュニケーションの実際(精神障害系)								
第5回	フィールドワーク ～北九州福祉用具プラザ見学～								
第6回	フィールドワーク ～北九州福祉用具プラザ見学 → 街角車椅子体験～								
第7回	介護におけるチームコミュニケーション … チームコミュニケーションとは？								
第8回	介護における記録の意義と目的								
第9回	現場におけるリスクマネジメント ～安全確認トレーニング～								
第10回	ハウレンソウの重要性 … 報告・連絡・相談 → 会議へ								
第11回	利用者様本位の援助の在り方とは？ … グループワーク								
第12回	現場におけるコミュニケーションの実際① ～演習主体～ 『かんだんて』にて								
第13回	『かんだんて』での演習の反省会 … どこがうまくいかなかった？発表してもらいます								
第14回	現場におけるコミュニケーションの実際② ～演習主体～ 『かんだんて』にて								
第15回	まとめ(2年生の授業に向けて)								
【学生に対する評価】									
定期試験：50点 レポートなどの提出・演習評価：30点 授業態度・出席率：20点									
レポートなど提出を求めたものの期限に間にあわないものは点数をつけません。									
【テキスト及び参考書】									
最新・介護福祉士要請講座 第5巻「コミュニケーション技術」(中央法規)									
適宜、DVD教材使用、その他必要に応じて資料配布									
担当教員	実務経験	特別養護老人ホーム・有料老人ホームで介護福祉士や管理者として勤務 日本国内外での介護学校教員・看護学校教員として非常勤勤務							
担当教員E-mail	barten2no@yahoo.co.jp	学校専用E-mail		sato@tohaya.ac.jp					

授業科目名	せいかつしえんぎじゆつ 生活支援技術A	担当教員名	森本 春子 木島 みどり	単位数	2	授業区分	演習	開講時期	1年前期
【授業の到達目標】									
<p>そんげん ほじ じりつしえん せいかつ ゆた かんてん ほんにんしゆたい せいかつ けいぞく こんきよ もと かいごじつせん 尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識を身につける。</p> <p>かていせいかつ か い しよく じゆう きそ りかい あんぜん かいてき せいかつ かんり ちしき ぎじゆつ しゆうとく せい 家庭生活に欠かせない「衣・食・住」の基礎を理解し、安全で快適に生活を管理できる知識や技術を習得しよりよい生活支援のあり方を学び介護につなげられる技能を身につける。</p>									
【授業計画】									
【森本】					【木島】				
第1回	シラバスの説明・生活支援とは何か(意義と目的)				しよくせいかつ きそちしき しよくじ いぎ えいよう りかい 食生活の基礎知識 食事の意義と栄養の理解				
第2回	生活支援と介護過程				ちようりじししゆう にちじようしよく ちようり 調理実習1 日常食の調理				
第3回	居住環境の整備 多職種との連携				だしのとり方 なた やさい き なた はいげん しかた だしのとり方、野菜の切り方、配膳の仕方				
第4回	居住環境の整備 自宅の間取りと危険箇所				いせいかつ きそちしき いふく きのう かんり 衣生活の基礎知識 衣服の機能と管理				
第5回	生活支援と福祉用具の活用				にちじようてき ほしゆうぎじゆつ 日常的な補修技術(ボタンつけ、ほつれ補修など)				
第6回	福祉用具を選ぶための視点				いせいかつ しえん せんたく しゆうのう 衣生活の支援(洗濯、収納)				
第7回	家庭生活に係る基礎知識				きそぬ りよう こもの 基礎縫いを利用した小物づくり①				
第8回	自立に向けた家事の介護				きそぬ りよう こもの 基礎縫いを利用した小物づくり②				
第9回	家事の介護における多職種との連携				きそぬ りよう こもの 基礎縫いを利用した小物づくり③				
第10回	緊急時の対応				かじ かいご かいしえん いぎ もくてき 家事の介護 家事支援の意義と目的				
第11回	災害時における生活支援				ちようりじししゆう かいごしよく ちようり 調理実習2 介護職の調理				
第12回	災害時における生活支援				そしやく えんげきのう はいりよ しよくじ 咀嚼・嚥下機能に配慮した食事				
第13回	災害時における生活支援				ちようりじししゆう ちりようしよく ちようり 調理実習3 治療食の調理				
第14回	災害時における生活支援				あじづ ちようりほう くふう 味付けや調理法の工夫				
第15回	災害時における生活支援				じゆうせいかつ きそちしき 住生活の基礎知識				
	だん 段ボールイレを作ってみよう まとめ				あんぜん かいてき す かんきようせいび せいそう ぎじゆつ 安全で快適に過ごすための環境整備や清掃の技術				
【学生に対する評価】									
<p>ていきけん しょう ていしゆづようきよう ないよう じゆぎようたいど そうごうてき ひようか ・定期試験 ・小テスト ・レポートの提出状況とその内容 ・授業態度などを総合的に評価する</p>									
【テキスト及び参考書】									
<p>さいしん かいごふくしし しようせいこうざ だい かん せいかつしえん ぎじゆつ ちゆうおうほうき ・最新介護福祉士養成講座 第6巻「生活支援技術 I」(中央法規)</p> <p>じゆけん うえ ちゆうおうほうき ・受験ワークブック 上(中央法規)</p> <p>ひつよう おう しりよう はいふ ・必要に応じて資料配布</p>									
<p>たんとうきよういんじつむけいけん とくべつようごうらうじん かいごふくしし きんむ きょたくかいごしえんじぎょうしよ きんむ 担当教員 実務経験 ・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして勤務</p>									
担当教員E-mail h-morimoto@tohaya.ac.jp					学校専用E-mail kamiduru@tohaya.ac.jp				

授 業 科 目 名	せいかつしえん ぎじゆつ 生活支援技術B	担 当 教 員 名	刀 根 謙 二 朗	単 位 数	2	授 業 区 分	演 習	開 講 時 期	1 年 前 期
【授業の到達目標】									
①介護対象者の尊厳に配慮した適切な言葉遣い・礼儀・態度・コミュニケーション能力などを身につける。									
②環境整備・移動・食事・身支度における生活支援技術の意義・目的及び基礎的知識を理解できる。									
③安全・安楽・自立支援に配慮した基本技術を習得し、介助時の留意点や根拠が説明できる。									
【授業計画】									
第1回 第2回	せいかつしえん ぎじゆつ じゆぎょうけいかく せつめい せいかつしえん きほんてき かんが なた じしゅうしつ しょう ほうほう ぶつびん かんり 生活支援技術とは(授業計画の説明・生活支援の基本的な考え方・実習室の使用法・物品管理)								
第3回 第4回	きゅうそく すいみん かいご ベッドメイキング 休息・睡眠の介護								
第5回 第6回	きゅうそく すいみん かいご ベッドメイキング 休息・睡眠の介護								
第7回 第8回	じりつ む いたう かいご じりつ いたう きほんてき りかい 自立に向けた移動の介護 自立した移動とは(多職種連携) 基本的理解 ボディメカニクス								
第9回 第10回	くるまいす こうどう せいせい そうさ 車椅子の構造・姿勢・操作								
第11回 第12回	つえほこう 杖歩行								
第13回 第14回	そくがい ききょ どうさ たんざい 側臥位・起居動作・端坐位								
第15回 第16回	いじょう どうさ くるまいす 移乗動作(ベッド⇔車椅子)・スライドボード								
第17回 第18回	じりつ む みじたく かいご みじたく 自立に向けた身支度の介護 身支度とは(多職種連携)								
第19回 第20回	いふく ちゃくだつ 衣服の着脱								
第21回 第22回	ベッドじょう ちゃくだつ ベッド上での着脱								
第23回 第24回	じりつ む しょくじ かいご じりつ しょくじ 自立に向けた食事の介護 自立した食事とは(多職種連携)								
第25回 第26回	しょくじ けいたい じじょく せいせい 食事の形態・自助具・姿勢								
第27回 第28回	しょくじ かいじょ 食事の介助								
第29回 第30回	ぜんき 前期まとめ								
【学生に対する評価】									
じゆこう えんしゅう たい いよく と く かだい ていしゆびようきよう ないよう ・受講・演習に対しての意欲や取り組み ・レポート課題などの提出状況とその内容									
ていき しけん ひつき じつぎ など そうごう ひょうか ・定期試験(筆記・実技) 等による総合評価									
【テキスト及び参考書】									
さいしん かいご ふくしし ようせいこうざ だい かん せいかつしえん ぎじゆつ だい かん せいかつしえん ぎじゆつ ちゅうおうほうき 最新 介護福祉士養成講座 第6巻『生活支援技術 I』、第7巻『生活支援技術 II』(中央法規)									
た ひつよう おう しりょう はいふ その他、必要に応じて資料を配布する。									
たんとくきょういんじつむけいけん かいご ふくしし かいご しえん せんもんいん かいご ろうじん ふくし しせつ かいご つきゅうりょうろうじん ねんきんむ 担当教員 実務経験 介護福祉士・介護支援専門員として、介護老人福祉施設・介護付有料老人ホームで26年勤務。									
担当教員E-mail heart-plaza.tohaya@themis.ocn.ne.jp 学校専用E-mail									

授 業 科 目 名	せい か つ えん ぎ じ ゆ つ 生活支援技術C	担 当 教 員 名	刀 根 謙 二 朗	単 位 数	2	授 業 区 分	演 習	開 講 時 期	1 年 後 期
【授業の到達目標】									
①介護対象者の尊厳及びプライバシーを尊重した、適切な言葉遣い・礼儀・態度などを身につける。									
②入浴・排泄・移動・移乗における生活支援技術の意義・目的及び基礎的知識を理解できる。									
③安全・安楽・自立支援に配慮した基本技術を習得し、介助時の留意点や根拠が説明できる。									
【授業計画】									
第1回 第2回	ぜん き ふ か え い ど う み じ た く し よ じ 前期振り返り 移動・身支度・食事								
第3回 第4回	じ り つ む み じ た く か い ご せん がん せい は つ つ め き ひ げ そ 自立に向けた身支度の介護 洗顔・整髪・爪切り・髭剃り								
第5回 第6回	じ り つ む し よ じ か い ご えん げ たい そ う ち つ そ く たい お う 自立に向けた食事の介護 嚥下体操・窒息対応								
第7回 第8回	じ り つ む い ど う か い ご あん ら く たい い 自立に向けた移動の介護 安楽体位								
第9回 第10回	じ り つ む は い せ つ か い ご は い せ つ 排 泄 と は (多 職 種 連 携) い ち れ ん な が 一 連 の 流 れ								
第11回 第12回	は い せ つ ほう ほう せん たく 排 泄 方 法 の 選 択								
第13回 第14回	か い じ よ か い じ よ トイレ介助・ポータブルトイレ介助								
第15回 第16回	こう かん オムツ交換								
第17回 第18回	り つ い こう かん は い せ つ し ょう が い たい お う 立位パット交換・排泄障害への対応								
第19回 第20回	じ り つ む に ゆう よく か い ご に ゆう よく た し よ く し ゆ れ ん け い い ち れ ん な が よ ご 一 連 の 流 れ 汚 れ や す い 部 位								
第21回 第22回	に ゆう よく じ ゆ ん び か い じ よ な が 入浴準備 介助の流れ								
第23回 第24回	と く よく 特浴								
第25回 第26回	よ く よ く リフト浴・シャワー浴								
第27回 第28回	こう き 後期まとめ								
第29回 第30回	こう き 後期まとめ								
【学生に対する評価】									
じ ゆ こう えん し ゆう たい い よく と く か だ い て い し ゆ て い き よう な い よう ・受講・演習に対しての意欲や取り組み ・レポート課題などの提出状況とその内容									
て い き し けん ひ つき じ つ ぎ な ど そう ご う ひ よう か ・定期試験(筆記・実技) 等による総合評価									
【テキスト及び参考書】									
さい しん か い ご ふ く し し よ う せい こう ざ だ い かん せい か つ し えん ぎ じ ゆ つ だ い かん せい か つ し えん ぎ じ ゆ つ ち ゆう お う ほう き 最新 介護福祉士養成講座 第6巻『生活支援技術 I』、第7巻『生活支援技術 II』(中央法規)									
た ひ つ よう お う し り よう はい ふ その他、必要に応じて資料を配布する。									
たんとくきょういんじつむけいけん 担当教員 実務経験	か い ご ふ く し か い ご し えん せん もん いん か い ご ろう じん ふ く し せ つ か い ご つき ゆう り よ う ろう じん ねん きん む 介護福祉士・介護支援専門員として、介護老人福祉施設・介護付有料老人ホームで26年勤務。								
担当教員E-mail	heart-plaza.tohaya@themis.ocn.ne.jp 学校専用E-mail								

授 業 科 目 名	せいかつしえんぎじゆつ 生活支援技術E	担 当 教 員 名	佐藤 弘樹	単 位 数	1	授 業 区 分	演習	開 講 時 期	1年 後 期
【授業の到達目標】									
①障害をもつ方々が、生活を営む上でどのような不自由さを感じているのか、正しく理解する。									
②障害の特性に応じた生活支援を行うための知識・技術および態度を養う。									
③他職種の役割と連携方法について理解する。									
【授業計画】									
第1回	障害に応じた生活支援技術 … 視覚障害の特性および生活上の困難と制約についての理解								
第2回	障害に応じた生活支援技術 … 視覚障害のある人の生活支援方法								
第3回	障害に応じた生活支援技術 … ガイドヘルプ手順①								
第4回	障害に応じた生活支援技術 … ガイドヘルプ手順②								
第5回	障害に応じた生活支援技術 … ガイドヘルプ演習①								
第6回	障害に応じた生活支援技術 … ガイドヘルプ演習② レポート提出								
第7回	障害に応じた生活支援技術 … 聴覚障害のある人の特徴理解とその支援方法								
第8回	障害に応じた生活支援技術 … 言語障害のある人の特徴理解とその支援方法								
第9回	障害に応じた生活支援技術 … 重複障害に応じた介護								
第10回	障害に応じた生活支援技術 … 認知症介護の基本視点								
第11回	障害に応じた生活支援技術 … 知的障害に応じた介護								
第12回	障害に応じた生活支援技術 … 演習①『かんだんて』にて(実際に介護してみよう)								
第13回	障害に応じた生活支援技術 … 発達障害の特性および生活の理解								
第14回	障害に応じた生活支援技術 … 演習②『かんだんて』にて(実際に介護してみよう)								
第15回	まとめ(生活支援技術Fに向けて)								
【学生に対する評価】									
定期試験 : 50点 レポートなどの提出・演習評価 : 30点 授業態度・主席率 : 20点									
レポートなど提出を求めたものの期限に間にあわないものは点数をつけません。									
【テキスト及び参考書】									
最新・介護福祉士要請講座 第8巻「生活支援技術Ⅲ」(中央法規)									
適宜、DVD教材使用、その他必要に応じて資料配布									
担当教員 実務経験 特別養護老人ホーム・有料老人ホームで介護福祉士や管理者として勤務 日本国内外での介護学校教員・看護学校教員として非常勤勤務									
担当教員E-mail		barten2no@yahoo.co.jp		学校専用E-mail		sato@tohaya.ac.jp			

授業科目名	かいご がかてい 介護過程 I	担当 教員名	森本 春子	単位数	1	授業 区分	演習	開講 時期	1年 前期
【授業の到達目標】									
かいごふくしよく ひつよう かいごがかてい しこうかてい りかい しゅうとく じっせん こと 介護福祉職として必要な介護過程における思考過程を理解・習得・実践する事ができる りようしゃほんいん かいごじっせん こんきよ もと ていきよう かいごけいかく りつあん じっせん ちから み 利用者本位の介護実践を根拠に基づき 提供するための介護計画の立案・実践する力を身につける。									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション ～ かいごがかてい まな 介護過程で学ぶこと ～								
第2回	かいごがかてい いぎ もくてき 介護過程の意義と目的								
第3回	かいごがかてい きほんしてん かんが かた かいごがかてい ひつようせい 介護過程の基本視点 ICFの考え方と介護過程の必要性								
第4回	かいごがかてい ぜんたいぞう もと じょうほう せいり 介護過程の全体像 ICFに基づいて情報を整理する								
第5回	かいごがかてい ぜんたいぞう 介護過程の全体像 アセスメントについて								
第6回	かいごがかてい てんかい りかい きほんてきしてん 介護過程の展開:アセスメントの理解(アセスメントの基本的視点)								
第7回	かいごがかてい てんかい りかい じょうほうしゅうしゅう りかい 介護過程の展開:アセスメントの理解(情報収集の理解)								
第8回	かいごがかてい てんかい りかい じょうほう かいしゃく かんれんづ どうごうか 介護過程の展開:アセスメントの理解(情報の解釈・関連付け・統合化)①								
第9回	かいごがかてい てんかい りかい じょうほう かいしゃく かんれんづ どうごうか 介護過程の展開:アセスメントの理解(情報の解釈・関連付け・統合化)②								
第10回	かいごがかてい てんかい りかい ひょう さくせい 介護過程の展開:アセスメントの理解(アセスメント表の作成)								
第11回	かいごがかてい てんかい かいごけいかくりつあん りかい ちょうきもくひょう たんきもくひょう せつてい 介護過程の展開:介護計画立案の理解(長期目標・短期目標の設定)								
第12回	かいごがかてい てんかい じっし 介護過程の展開:実施								
第13回	かいごがかてい てんかい ひょうか 介護過程の展開:評価								
第14回	かいごがかてい てんかい ふくしゅう 介護過程の展開の復習								
第15回	まとめ								
【学生に対する評価】									
ていきしけん しょう ていしゅぶようきよう ないよう じゅぎょうたいど そうごうてき ひょうか ・定期試験 ・小テスト ・レポートの提出状況とその内容 ・授業態度などを総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
さいしん かいごふくし しようせいこうざ だい かん だい ほん かいごがかてい ちゅうおうほうき ・最新介護福祉士養成講座 第9巻 第2版 「介護過程」(中央法規)									
じゅけん うえ ちゅうおうほうき ・受験ワークブック 上(中央法規)									
ひつよう おう しりょう はいふ ・必要に応じて資料配布									
たんとうきょういんじつむけいけん 担当教員 実務経験 ・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして勤務									
担当教員E-mail h-morimoto@tohaya.ac.jp					学校専用E-mail				

授業科目名	かいご がかてい 介護過程Ⅱ	担当 教員名	森本 春子	単位数	1	授業 区分	演習	開講 時期	1年 後期
【授業の到達目標】									
かいごふくしよく ひつよう かいごがかてい しこうがかてい りかい しゅうとく じっせん こと 介護福祉職として必要な介護過程における思考過程を理解・習得・実践することができる りようしゃほんいん かいごじっせん こんきよ もと ていきよう かいごけいかく りつあん じっせん ちから み 利用者本位の介護実践を根拠に基づき 提供するための介護計画の立案・実践する力を身につける。									
【授業計画】									
第1回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	じょうほう せいり 情報の整理①						
第2回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	じょうほう せいり 情報の整理②						
第3回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	じょうほう かいしゃく かんれんづ 情報の解釈・関連付け①						
第4回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	じょうほう かいしゃく かんれんづ 情報の解釈・関連付け②						
第5回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	きょうゆう イメージの共有						
第6回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	せいかつかだい ちゅうしゅつ 生活課題の抽出①						
第7回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	せいかつかだいのちゅうしゅつ 生活課題の抽出②						
第8回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	せいかつかだいのちゅうしゅつ 生活課題の抽出③						
第9回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	せいかつかだいのちゅうしゅつ 生活課題の抽出④						
第10回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	せいかつかだいのちゅうしゅつ 生活課題の抽出⑤						
第11回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 1 介護過程の実践的展開:事例検討	1	せいかつかだい きょうゆう せいかつかだい ひょうげんほうほう 生活課題の共有、生活課題の表現方法						
第12回	かいごがかてい じっせんてきてんかい じれいけんとう 介護過程の実践的展開:事例検討	1	せいかつかだい きょうゆう せいかつかだい ひょうげんほうほう 生活課題の共有、生活課題の表現方法						
第13回	じっしゅう お じれいはっぴょう 実習Ⅱ-1を終えての事例発表①								
第14回	実習Ⅱ-1を終えての事例発表②								
第15回	実習Ⅱ-1を終えての事例発表③		まとめ						
【学生に対する評価】									
ていきしけん しょう ていしゅぶようきよう ないよう じゅぎょうたいど そうごうてき ひょうか ・定期試験 ・小テスト ・レポートの提出状況とその内容 ・授業態度などを総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
・最新介護福祉士養成講座 第9巻 第2版 「介護過程」(中央法規)									
じゅけん うえ ちゅうおうほうき ・受験ワークブック 上(中央法規)									
ひつよう おう しりょう はいふ ・必要に応じて資料配布									
たんとうきょういんじつむけいけん 担当教員 実務経験 ・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして勤務									
担当教員E-mail h-morimoto@tohaya.ac.jp					学校専用E-mail				

授 業 科 目 名	かいごそうごうえんしゅう 介護総合演習 I	担 当 教 員 名	堤 由加里	単 位 数	2	授 業 区 分	演習	開 講 時 期	1年 前期
【授業の到達目標】									
じっしゅう じぎょうしょ かりかい かくりょういき まな ちしき ぎじゅつ とうごう せんもんしよく たいど しゅうとく 実習する事業所について理解し、各領域で学んだ知識と技術を統合しながら、専門職としての態度を習得する。									
【授業計画】									
第1・2回	介護総合演習で何を学ぶか / 介護実習で何を学ぶか								
第3・4回	介護実習の意義と目的 / 介護実習のおもな流れ								
第5・6回	介護実習の種類 / 実習前の学びと、実習後の学びのいかし方								
第7・8回	介護実習前の学習の内容と方法								
第9・10回	介護実習中の学習の内容と方法 / 介護実習後の学習の内容と方法								
第11・12回	実習先の特徴、実習先での学び 通所介護 / 通所リハビリテーション								
第13・14回	介護実習 I のねらいと実習モデル								
第15回	介護実習 I ー① 実習に関する書類の意義、目的、記録方法 について								
)	・介護実習支援システムについて 実習日誌 / 実習計画書 / 事前学習レポート / 学生情報								
	実習施設・事業所情報 / 介護技術実施状況確認表 / 自己評価表 / 実習報告書 など								
	・誓約書について								
	・事前オリエンテーションについて								
第22回	・実習の心得について								
第23・24回	介護実習 I ー① 振り返り								
	・お礼状作成 / 自己評価表作成 / 実習報告書作成								
【学生に対する評価】									
ていましけん しょう かいだい ていしゅぎょうきょう ないよう ・定期試験 ・小テスト ・レポート課題の提出状況とその内容									
じゅこう えんしゅう たい いよく とく などを総合的に評価する ・受講、演習に対しての意欲や取り組み などを総合的に評価する									
【テキスト及び参考書】									
さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん かいごそうごうえんしゅう かいごじっしゅう ちゅうおうほうき ・最新 介護福祉士養成講座 第10巻「介護総合演習・介護実習」(中央法規)									
ひつよう おう しりょうはいふ ・必要に応じて資料配布									
たんとうきょういんじつむけいけん 担当教員 実務経験	・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・病院で看護師として勤務								
担当教員E-mail	tsutsumi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail					

授業科目名	介護総合演習Ⅱ	担当教員名	堤 由加里	単位数	1	授業区分	演習	開講時期	1年後期
【授業の到達目標】									
実習する施設、ならびに各領域で学んだ知識と技術を統合し介護実践につなげながら、個別ケアについて学ぶ。									
【授業計画】									
第1回	実習日誌における「評価・考察」の振り返り / 介護実習 I-① 実習報告会準備								
第2回	介護実習 I-① 実習報告会								
第3回	介護実習 I-①における自己課題の明確化と対策								
第4回	介護実習 I-② 実習先の特徴、実習での学び 介護老人福祉施設								
第5回	" 介護老人保健施設								
第6回	" 特定施設入居者生活介護 有料老人ホーム								
第7回	介護実習 I-② 実習計画書作成								
第8回	事前学習 介護の現場でよく見る薬について								
第9回	介護実習 I-② 帰校日 アセスメント個別指導①								
第10回	" アセスメント個別指導②								
第11回	介護実習 I-② 振り返り お礼状作成 / 自己評価表作成 / 実習報告書作成								
第12回	介護実習 I-② 実習報告会								
第13回	介護実習 I-②における自己課題の明確化と対策								
第14回	介護実習 I-③にむけて 認知症利用者のレクリエーション								
第15回	まとめ								
【学生に対する評価】									
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・レポート課題の提出状況とその内容 ・受講、演習に対しての意欲や取り組み などを総合的に評価する 									
【テキスト及び参考書】									
<ul style="list-style-type: none"> ・最新 介護福祉士養成講座 第10巻「介護総合演習・介護実習」(中央法規) ・必要に応じて資料配布 									
担当教員 実務経験 <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・病院で看護師として勤務 									
担当教員E-mail		tsutsumi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail				

授業科目名	かいごじっしゅう 介護実習Ⅰ-①	担当教員名	堤 由加里	単位数	2	授業区分	実習	開講時期	1年前期
【授業の到達目標】									
つうしょかいご 通所介護や通所リハビリテーションにおいて、利用者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや 生活支援を行う基礎的能力を習得する。									
【授業計画】									
第1日	※各施設の実習スケジュール内容に応じて、実習を実施する。								
	・実習施設の役割・特徴の理解								
	・対人援助者として必要とされる礼儀、態度、言葉遣い等の理解								
	・施設利用者の一日の生活の流れの理解、および具体的な介護業務の実施								
第2日	・利用者とのコミュニケーションと利用者理解								
	・介助場面の見学、実際の介助・支援の体験								
	・実習日誌による評価・考察、指導者への提出								
【学生に対する評価】									
実習終了後に返送される実習評価表の結果に基づき総合評価を行う。									
・実習評価表に予め10項目の評価内容(礼儀・態度、責任感、積極性、学習意欲、人間関係、注意力、技術力、 観察力、記録能力、適性)および、それぞれの項目に対して具体的な評価規準を定めている。									
・実習指導者が各項目についてA～Eの5段階評価を行い、各評価内容に対する所見、および実習全体の総合 50点満点で、秀=45点以上、優=40～44点、良=35～39点、可=20～34点、不可=19点以下もしくはE評価 が2つ以上ある場合として評価する。									
・上記の実習評価表による評価を主とするが、実習指導者の所見内容、および学生の実習意欲や態度、実習 日誌や課題等の諸提出物の状況や内容等を踏まえ、最終的な評価を行う。									
【テキスト及び参考書】									
・最新 介護福祉士養成講座 第10巻「介護総合演習・介護実習」(中央法規)									
・介護総合演習の授業配布プリント									
担当教員	実務経験	・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・病院で看護師として勤務							
担当教員E-mail	tsutsumi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail					

授 業 科 目 名	介護実習 I ー②	担 当 教 員 名	堤 由加里	単 位 数	2	授 業 区 分	実 習	開 講 時 期	1 年 後 期
【授業の到達目標】									
<small>かいごほけんしせつとう</small> 介護保険施設等において、利用者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う 基礎的能力を習得する。									
【授業計画】									
※各施設の実習スケジュール内容に応じて、実習を実施する。									
第1日	・実習施設の役割・特徴の理解 ・対人援助者として <small>ふさわ</small> 相応しい <small>ぎじゆつ</small> コミュニケーション技術の習得 ・施設利用者の一日の生活の流れの理解、および具体的な介護業務の実施								
5	・介助場面 の見学、 <small>きほんてき</small> 基本的な介助・支援の実施 ・ <small>かいごふくしし</small> 介護福祉士の役割と <small>しよくむ</small> 職務の理解								
	第12日	・実習日誌による評価・考察、指導者への提出 ・ <small>じょうほうしゅうしゅう</small> 情報収集による利用者の <small>じょうたいぞう</small> 状態像の把握、 <small>はあく</small> アセスメント表の提出							
【学生に対する評価】									
実習終了後に返送される実習評価表の結果に基づき総合評価を行う。									
・実習評価表に予め10項目の評価内容(責任感、積極性、学習意欲、人間関係、 <small>はんだんりよく</small> 判断力、注意力、技術力、 観察力、記録能力、適性)および、それぞれの項目に対して具体的な評価規準を定めている。									
・実習指導者が各項目についてA～Eの5段階評価を行い、各評価内容に対する所見、および実習全体の総合 50点満点で、秀＝45点以上、優＝40～44点、良＝35～39点、可＝20～34点、不可＝19点以下もしくはE評価 が2つ以上ある場合として評価する。									
・上記の実習評価表による評価を主とするが、実習指導者の所見内容、および学生の実習意欲や態度、実習 日誌や課題等の諸提出物の状況や内容等を踏まえ、最終的な評価を行う。									
【テキスト及び参考書】									
・最新 介護福祉士養成講座 第10巻「介護総合演習・介護実習」(中央法規) ・介護総合演習の授業配布プリント									
<small>たんとくきょういんじつむけいけん</small> 担当教員 実務経験					・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・病院で看護師として勤務				
担当教員E-mail		tsutsumi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail				

授業科目名	こころとからだのしくみⅠ	担当教員名	堤 由加里	単位数	2	授業区分	講義	開講時期	1年前期
【授業の到達目標】									
かいごじっせん こんきょ にんげん しんり じんたい こうぞう きのう りかい 介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解できる。									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション / 健康とは何か / こころのしくみを理解する								
第2回	こころのしくみを理解する		にんげん よっきゅう / じ こじつげん そんげん 人間の欲求とは / 自己実現と尊厳						
第3回	〃		こころのしくみの基礎						
第4回	からだのしくみを理解する		からだのつくりの理解						
第5回	〃		さいぼう いでん のう しんけい 細胞・遺伝・脳・神経						
第6回	〃		かんかくき ① しかくき へいこうちょうかくき 感覚器①(視覚器・平衡聴覚器)						
第7回	〃		きゅうかくき みかくき ひふ 感覚器②(嗅覚器・味覚器・皮膚)						
第8回	〃		こきゅうき ① 呼吸器①(呼吸器の構造)						
第9回	〃		呼吸器②(呼吸器のしくみ)						
第10回	〃		じゅんかんき ① 循環器①(循環器の構造)						
第11回	〃		循環器②(循環器のしくみ)						
第12回	〃		しょうかき ① 消化器①(消化器の構造)						
第13回	〃		消化器②(消化器のしくみ)						
第14回	〃		ひにょうき ① 泌尿器①(泌尿器の構造)						
第15回	〃		はいにょう はいべん 泌尿器②(排尿のしくみと排便のしくみ)						
【学生に対する評価】									
<ul style="list-style-type: none"> ていきしけん しょう ・定期試験 ・小テスト かだい ていしゅつじょうきょう ないよう ・レポート課題の提出状況とその内容 じゅこう えんしゅうたい いよく とく しょうごうてき ひょうか ・受講、演習に対しての意欲や取り組みなどを総合的に評価する 									
【テキスト及び参考書】									
<ul style="list-style-type: none"> さいしんかいごふくししょうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうき 最新 介護福祉士養成講座 第14巻「こころとからだのしくみ」(中央法規) じゅけん げ ちゅうおうほうき 受験ワークブック 下(中央法規) ひつよう おう しりょうはいふ 必要に応じて資料配布 									
たんとくきょういんじつむけいけん とくべつようごろうじん かいごふくし きんむ びょういんかんごし きんむ 担当教員 実務経験 ・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・病院で看護師として勤務									
担当教員E-mail		tsutsumi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail				

授業科目名	こころとからだのしくみⅡ	担当教員名	堤 由加里	単位数	2	授業区分	講義	開講時期	1年前期
【授業の到達目標】									
<p>介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解できる。</p> <p>また心身の機能が生活に及ぼす影響から、介護実践における安全への留意点について理解できる。</p>									
【授業計画】									
第1回	からだのしくみを理解する	ほね きんにく かんせつ 骨・筋肉・関節							
第2回	〃	筋肉・関節 / しんけいけい 神経系							
第3回	〃	せいしよくき ないぶんびつ 生殖器・内分泌							
第4回	〃	内分泌 / けつえき たいえき 血液・体液・リンパ液							
第5回	〃	せいめい いじ 生命を維持するしくみ							
第6回	いどう かんれん 移動に関連したこころとからだのしくみ	移動のしくみ①							
第7回	〃	移動のしくみ①							
第8回	〃	ていか およ えいきよう 心身の機能低下が移動に及ぼす影響							
第9回	〃	へんか き たいおう 変化の気づきと対応							
第10回	み 身じたくに関連したこころとからだのしくみ	身じたくのしくみ①							
第11回	〃	身じたくのしくみ②							
第12回	〃	心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響							
第13回	〃	変化の気づきと対応							
第14回	まとめ①(からだのしくみ)								
第15回	まとめ②(移動・身じたくに関連したこころとからだのしくみ)								
【学生に対する評価】									
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・レポート課題の提出状況とその内容 ・受講、演習に対しての意欲や取り組み などを総合的に評価する 									
【テキスト及び参考書】									
<ul style="list-style-type: none"> ・最新 介護福祉士養成講座 第14巻「こころとからだのしくみ」(中央法規) ・受験ワークブック 下(中央法規) ・必要に応じて資料配布 									
たんとうきょういんじつむけいけん 担当教員 実務経験 <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・病院で看護師として勤務 									
担当教員E-mail		tsutsumi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail				

授業科目名	こころとからだのしくみⅢ	担当教員名	堤 由加里	単位数	2	授業区分	講義	開講時期	1年後期
【授業の到達目標】									
心身の機能が生活に及ぼす影響から、介護実践における安全への留意点について理解できる。									
【授業計画】									
第1回	しょくじ 食事に関連したこころとからだのしくみ								食事のしくみ①
第2回	〃								食事のしくみ②
第3回	〃								心身の機能低下が食事に及ぼす影響
第4回	〃								変化の気づきと対応
第5回	〃								まとめ
第6回	にゅうよく せいけつほじ 入浴・清潔保持に関連したしくみ								入浴・清潔保持のしくみ①
第7回	〃								入浴・清潔保持のしくみ②
第8回	〃								心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響
第9回	〃								変化の気づきと対応
第10回	〃								まとめ
第11回	はいせつ 排泄に関連したこころとからだのしくみ								排泄のしくみ①
第12回	〃								排泄のしくみ②
第13回	〃								心身の機能低下が排泄に及ぼす影響
第14回	〃								変化の気づきと対応
第15回	〃								まとめ
【学生に対する評価】									
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・レポート課題の提出状況とその内容 ・受講、演習に対しての意欲や取り組み などを総合的に評価する 									
【テキスト及び参考書】									
<ul style="list-style-type: none"> ・最新 介護福祉士養成講座 第14巻「こころとからだのしくみ」(中央法規) ・受験ワークブック 下(中央法規) ・必要に応じて資料配布 									
たんとくきょういんじつむけいけん 担当教員 実務経験									
・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・病院で看護師として勤務									
担当教員E-mail		tsutsumi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail				

授業科目名	発達と老化の理解 I	担当教員名	白石 結香	単位数	2	授業区分	講義	開講時期	1年前期
【授業の到達目標】									
<p>・人が生まれてから死に至るまでのそれぞれの発達段階における特徴や発達課題及び生涯発達の考え方について理解する。</p> <p>・老化に伴う心理・社会的な変化が高齢者の日常生活に、どのような影響を及ぼすのかについて理解を深める。</p>									
【授業計画】									
第1回	オリエンテーション / 成長・発達の考え方 / 生涯発達とは								
第2回	成長・発達の原則及び法則 / 成長・発達に影響する遺伝的要因と環境的要因の関係								
第3回	エリクソンの発達理論								
第4回	発達に伴う特徴的な疾病や障害								
第5回	身体的機能の成長と発達								
第6回	ピアジュの認知発達理論								
第7回	子どもの社会性の発達の理解 / 愛着について								
第8回	老年期の定義 / 老化とは								
第9回	老年期の発達課題 / 「喪失」と「喪失体験」								
第10回	バルデスの発達理論								
第11回	高齢者が歩んできた時代								
第12回	老化による認知機能・知的機能の変化								
第13回	人間の欲求・動機づけ / 適応機制								
第14回	老化に伴う社会的な変化と生活への影響								
第15回	まとめ								
【学生に対する評価】									
<p>・定期試験 ・小テスト ・レポートの提出状況とその内容 ・授業態度などを総合的に評価する</p>									
【テキスト及び参考書】									
<p>・最新介護福祉士養成講座 第12巻「発達と老化の理解」(中央法規)</p> <p>・受験ワークブック 上(中央法規)</p> <p>・必要に応じて資料配布</p>									
担当教員 実務経験					<p>・病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務</p> <p>・病院で看護師として勤務</p>				
担当教員E-mail					学校専用E-mail				

授 業 科 目 名	発達と老化の理解Ⅱ	担 当 教 員 名	白石 結香	単 位 数	2	授 業 区 分	講義	開 講 時 期	1年 後 期
【授業の到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴う身体的な変化と生活への影響について理解する。 ・高齢者に多い症状、疾患について理解し、それらが日常生活にどのように影響するのか理解する。 									
【授業計画】									
第1回	老化に伴う身体的な変化と生活への影響①								
第2回	老化に伴う身体的な変化と生活への影響②								
第3回	老化に伴う身体的な変化と生活への影響③								
第4回	健康長寿に向けてのサクセスフルエイジング								
第5回	高齢者の症状や疾患の特徴 / 高齢者に特有な症候								
第6回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 骨格系・筋系の病気								
第7回	" 脳・神経系の病気								
第8回	" 感覚器系の病気								
第9回	" 循環器系の病気								
第10回	" 呼吸器系の病気、消化器系の病気								
第11回	" 腎・泌尿器系の病気、内分泌・代謝系の病気								
第12回	" 歯・口腔疾患の病気、悪性新生物(がん)								
第13回	" 感染症、精神疾患								
第14回	保健医療職との連携								
第15回	まとめ								
【学生に対する評価】									
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験・小テスト・レポートの提出状況とその内容・授業態度などを総合的に評価する 									
【テキスト及び参考書】									
<ul style="list-style-type: none"> ・最新介護福祉士養成講座 第12巻「発達と老化の理解」(中央法規) ・受験ワークブック 上(中央法規) ・必要に応じて資料配布 									
担当教員 実務経験					<ul style="list-style-type: none"> ・病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務 ・病院で看護師として勤務 				
担当教員E-mail					学校専用E-mail				

授 業 科 目 名	にんちしょうのりかい 認知症の理解 I	担 当 教 員 名	片山 泰代	単 位 数	2	授 業 区 分	講義	開 講 時 期	1年 後 期
【授業の到達目標】									
にんちしょう おも びょうき しょうじょう とくちょう りかい にんちしょう ひと かぞく たい てきせつ ていきょう 認知症の主な病気や症状の特徴を理解し、認知症の人や家族に対する適切なケアが提供できるように なる知識を習得する。									
【授業計画】									
第1回	にんちしょう きそてきりかい 認知症の基礎的理解	にんちしょう なに 認知症とは何か							
第2回	のう 脳のしくみ								
第3回	にんちしょう ひと しんり 認知症の人の心理								
第4回	にんちしょう しょうじょう しんだん ちりょう よぼう 認知症の症状・診断・治療・予防	にんちしょう しょうじょう りかい 認知症の症状の理解							
第5回	せいかつしょうがい りかい 生活障害・BPSDの理解								
第6回	にんちしょう しんだん ちりょう 認知症の診断と治療								
第7回	にんちしょう れきし りねん 認知症ケアの歴史と理念	りねん とうじしゃ してん とお てきせつ まな 理念と当事者の視点を通して適切なかわりを学ぶ							
第8回	にんちしょう じっさい 認知症ケアの実際	にんちしょう ひと りかい 認知症の人の理解							
第9回	にんちしょう ひと 認知症の人とのコミュニケーション								
第10回	にんちしょう ひと 認知症の人へのケア								
第11回	にんちしょう ひと 認知症の人へのさまざまなアプローチ								
第12回	じんせい さいしゅうだんかい いりょう かいご かんきょう 人生の最終段階における医療と介護、環境づくり								
第13回	かいごしやえん 介護者支援								
第14回	にんちしょう ひと ちいきせいかつえん 認知症の人の地域生活支援								
第15回	まとめ								
【学生に対する評価】									
ていきしけん しょう ・定期試験 ・小テスト									
かだい ていしゆびょうきょう ないよう ・レポート課題の提出状況とその内容									
じゅこう えんしゅう たい いよく と く そうごうてき ひょうか ・受講、演習に対しての意欲や取り組みなどを総合的に評価する。									
【テキスト及び参考書】									
さいしん かいごふくししよせいこうざ だい かん にんちしょう りかい ちゅうおうほうき ・最新 介護福祉士養成講座 第13巻「認知症の理解」(中央法規)									
ひつよう おう しりょう はいふ 必要に応じて資料を配布する。									
担 当 教 員	たんとうきょういんじつむけいけん 実務経験	びょういん かんごし かいごしえんせんもんいん きんむ ・病院で看護師、介護支援専門員として勤務							
担 当 教 員 E - mai heart-plaza.tohaya@themis.ocn.ne.jp 学校専用E-mail									

授業科目名	いりょうてき 医療的ケア I	担当教員名	堤 由加里	単位数	1	授業区分	講義	開講時期	1年 後期
【授業の到達目標】									
医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な基礎的知識を習得する。									
【授業計画】									
第1回	医療的ケア	医療的ケアとは / 医行為について かくたんきゅういんとうせいど しゃかいふくししおよ かいごふくししほう かいせい 喀痰吸引等制度 (社会福祉士及び介護福祉士法の改正)①							
第2回	〃	喀痰吸引等制度 (社会福祉士及び介護福祉士法の改正)② 医療的ケアと喀痰吸引等の背景							
第3回	安全な療養生活	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施							
第4回	〃	救急蘇生							
第5回	清潔保持と感染予防	感染予防 / 演習1 手洗い 演習2 使い捨て手袋やマスクの使用							
第6回	〃	介護福祉職の感染予防 / 療養環境の清潔、消毒法 / 消毒と滅菌							
第7回	健康状態の把握	身体・精神の健康 / 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)①							
第8回	〃	健康状態を知る項目(バイタルサインなど)② / 急変状態について							
第9回	まとめ								
【学生に対する評価】									
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 小テスト ・レポート課題の提出 状況とその内容 ・受講、演習に対しての意欲や取り組みなどを総合的に評価する 									
【テキスト及び参考書】									
<ul style="list-style-type: none"> ・最新 介護福祉士養成講座 第15巻「医療的ケア」(中央法規) ・受験ワークブック 下(中央法規) ・必要に応じて資料配布 									
担当教員 実務経験 ・特別養護老人ホームで介護福祉士として勤務 ・病院で看護師として勤務									
担当教員E-mail		tsutsumi@tohaya.ac.jp			学校専用E-mail				